

令和6年度 南筑後地域未来の地域リーダー 育成プログラム「南筑後みらい塾」

活動報告書



主催：南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
後援：福岡県教育委員会

南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラムとは

南筑後地域（大牟田市、柳川市、大川市、みやま市、大木町）在住の中学生を対象に、地域におけるSDGsやワンヘルス、観光による地域活性化の取組を学び、持続可能な社会の構築に向け、自分たちができる取組や今後の地域のあり方について考えるプログラムです。

実施概要

- 主 催
南筑後地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
（大牟田市、大牟田市教育委員会、柳川市、柳川市教育委員会、大川市、大川市教育委員会、みやま市、みやま市教育委員会、大木町、大木町教育委員会、福岡県）
- 後 援
福岡県教育委員会
- 開催日程と会場
開催日程：令和6年8月7日（水）～10日（土） 3泊4日
会 場：大川市ふれあいの家 その他カリキュラムに応じて移動
- 参 加 者
南筑後地域在住（大牟田市、柳川市、大川市、みやま市、大木町）の中学生31名

講師紹介

1日目講師

横倉 義武 氏（社会医療法人弘恵会理事長）
「ワンヘルスについて」



2日目講師

松藤 富士子 氏（株式会社ピストロくるるん代表取締役）
「未来をつかむための あきらめない気持ち」



2日目講師

仁田原 進一 氏（仁田原建具製作所 代表）
【組子製作体験】



活動報告動画

実施内容を動画にまとめました
ぜひご覧ください。



1日目：閉講式・オリエンテーション 講義 グループワーク



知っている人がいなくて
友達が作れるか
不安だったけど…。
たくさんの人が声を
かけてくれて
仲良くなれました。



はじめてワンヘルスのことを
知りました。
福岡県のワンヘルスの取組は
全国から注目されているので
すごい！と思いました。

2日目：見学・講義・体験 グループワーク



地産地消レストランをわずか3名で
開業したなんてびっくり！
ベスト1の「コロコロエリンギ」最高！
どのメニューもおいしかったので
また行きたいです。



組子の製作を体験することで
仁田原さんの組子細工に表現
される光と影の美しさ、木の
素材を生かした技術の高さに
感動しました。



3日目：フィールドワーク（大牟田市）

大牟田市動物園、大牟田市ともだちや絵本美術館



動物園内の掲示物には動物福祉を考えた工夫があって感心しました。



動物の見方・かかり方が変わりました。動物の気持ちを優先した行動がとれるようになります。



動物が幸せにくらすために動物が自ら選んで過ごす環境づくりの話が印象的でした。

8月11日 世界ライオンの日のオブジェ。古新聞や木枝など身近な廃材の持ち味を生かして完成！！



3日目：フィールドワーク（柳川市）

くもで網体験、水辺の生き物たち、SDGsカードゲーム



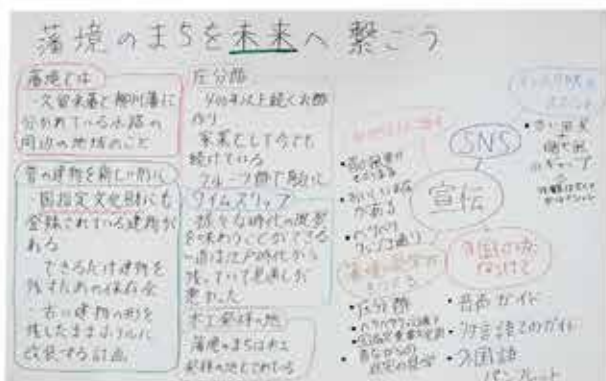
柳川の伝統漁法くもで網で魚やエビが大漁！絶滅させないために、自然環境を守っていくことの大切さを実感しました。



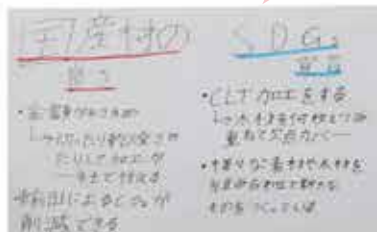
SDGsゲームは、世代の違うスタッフとペアになり、様々な考えがあることを学びました。今、自分たちに出来ることを再確認できました。



3日目：フィールドワーク（大川市） 藩境のまち、インテリア関連事業所



国産材の良さを知ることができました。

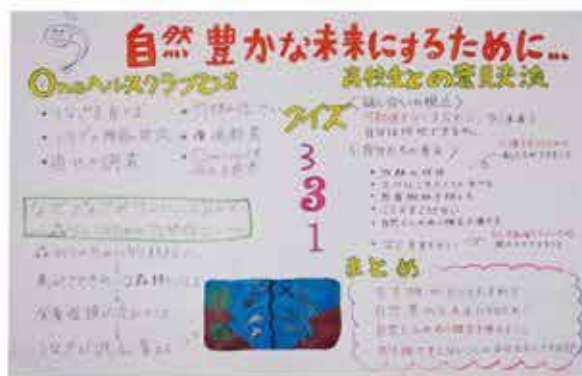


旧吉原家住宅にある一枚板の
壮さにびっくり！
庄分酢で飲む酢（ブドウ味）も
おいしかった！



家具作りに対する思いだけでなく
「大川を良くしたい、盛り上げたい」
という社長さんの熱い心も伝わりました。

3日目：フィールドワーク（みやま市） ワンヘルスの取組 山門高校 地域活性化の取組



追跡調査で石倉かごに
ひっかかるウナギの
割合って少ないんだなあ。



地域おこし協力隊として
地域を活性化していくために
いろいろな取組をされているんだなあ。

私たちの質問に、何でも
的確に答えてくれる
高校生の姿にあこがれました。
Oneヘルスクラブの説明を
聞いて、自分は何が出来るか
を考えていきたいです。



4日目：グループ発表「私たちが目指す未来の南筑後地域」 閉講式



1 班：大牟田市

大牟田動物園では、動物が安心してすごせる居場所づくりを目指したワンヘルスの取組が行われています。

「動物の幸せは人の幸せ」をモットーに日々動物たちと関わってあるそうです。

ともだちや絵本美術館は、内田麟太郎さんの絵本をはじめたくさんの本がありました。いろいろなイベントも開催され楽しく交流しながら絵本への興味を深めていくことが出来る工夫がいっぱいでした。



2 班：柳川市

くもで網漁の体験をして分かったのは、大きいので重くて大変だったことです。えび、ボラ、ワラスボ、時期によってはウナギもとれるそうです。しかし、今、漁獲量が激減し絶滅の危機にある生き物がいます。防災のために川底の土を取り除く工事のためです。

生き物を守っていくためには、「知る」「興味をもつ」ことが大切だということを実感しました。



3 班：大川市

「藩境の町を未来につなごう」をテーマに発表します。旧吉原家住宅も含めた昔ながらの建物をできるだけ残していけるような活動をされているそうです。近い将来私たちも宿泊できるようになる日がくるかもしれません。大川といえば家具生産量日本一。もっと国産品のよさを知ってもらい、さらに残った木材の活用法の工夫が期待されます。



4 班：みやま市

竹林は栄養塩類を全て吸収してしまうので土砂災害が起こりやすくなります。だから、山門高校では、ウナギのために竹林伐採をしているそうです。

Oneヘルスクラブ顧問の木庭先生の説明後、高校生と「可動堰(かどうぜき)をなくすために自分は何ができるのか」について意見交換をしました。

豊かな森林や川を守るために、私たちができることをしていきたいと思います。

講義では、ワンヘルスやSDGsについて聞いたり質問したりしていろいろなことを学ぶことができてよかった。

日本や世界には、色々な課題があり、それを解決しようと活動したり、努力したりしている人がいることがわかった。

フィールドワークでは、動物の大切さやワンヘルスの意味や価値について知ることができたのでためになった。

みんなで意見交換や体験をし、沢山のことを学ぶことが出来た。夜に、みんなでご飯を食べたり、寝たりしたことも楽しかった。

学んだことは、仲間と協力する大切さ。一人で模造紙にまとめることは不可能だから。いろんな見方や考え方を知って勉強になった。

3泊4日で友達も増え、仲良くなれてよかった。高校生から教えてをもらい、大学生からアドバイスをもらっていい経験ができた。

最後のワールドカフェは、初日とは全く異なる雰囲気で、とても楽しいものだった。コミュニケーション力が高まったと思う。

この体験を通して得たコミュニケーション能力や情報をまとめる力を今後の生活に生かしていきたいと思う。

人前で話すことが苦手だったけど今回のプログラムで自信をもてるようになったので良かった。みんなと楽しく学ぶことができた。



